

大会第1日 [5月16日(水)] 09:30~11:45 一般口頭発表

A 会場

中高緯度大気

座長 : 佐藤 友徳 (北大院地球環境)

A101	岩崎 杉紀 (防大地球)	可視では判別できないほど薄い雲が他の雲に与える影響
A102	相澤 拓郎 (東大大気海洋)	MRI-ESM2 を用いた CMIP6 実験に見られる北極域の数十年規模変動
A103	小寺 邦彦 (名大・宇地研)	2017 年末の北米寒波と成層圏惑星波の下方伝播
A104	佐藤 友徳 (北大院地球環境)	ユーラシア大陸北部における夏季気温偏差の予測可能性に対する陸面の寄与
A105	佐藤 令於奈 (福岡大院理)	冬季中緯度における雲量の季節内変動特性
A106	平田 英隆 (名大・宇地研)	暖流からの潜熱/顕熱供給に対する日本列島に沿って北進する爆弾低気圧の応答
A107	佐藤 尚毅 (学芸大)	MJO の位相や振幅が関東地方の降水や降雪に与える影響

B 会場

降水システム I

座長 : 横田 祥 (気象研)

- | | | |
|------|----------------|---|
| B101 | 荒木 健太郎 (気象研) | 那須における短時間大雪の統計解析 |
| B102 | 渡邊 俊一 (JMBSC) | DSJRA-55 を用いた冬季日本海上の渦状擾乱の長期変動の解析 |
| B103 | 篠田 裕太 (九大・理) | 長白山系による JPCZ 発生環境場の形成と日本海側の降水分布 |
| B104 | 川島 正行 (北大低温研) | 日本海を通過する寒冷前線の多重構造とその形成メカニズム |
| B105 | 横田 祥 (気象研) | 局地的降水の発生に適した大気場のアンサンブル実験に基づく解析 |
| B106 | 関 庚夕 (名大 ISEE) | 夏季の近畿地方に発生する線状降水システムの形成メカニズム |
| B107 | 今村 淳志 (筑波大学) | 集中豪雨をもたらす線状降水帯の統計解析: その2 鉛直シアベクトルと線状降水帯の走向の関係 |

C 会場

大気放射

座長 : 大河原 望 (気象庁環境気象)

- | | | |
|------|-----------------|--|
| C101 | 大河原 望 (気象庁環境気象) | 水蒸気が多い状況における赤外放射計の特性 |
| C102 | 桃井 裕広 (東理大) | 天空輝度を用いた水蒸気波長のセルフキャリブレーション法の開発 |
| C103 | 内山 明博 (環境研) | 改造スカイラジオメーターによる月を光源としたエアロゾル光学的厚さの推定 (2) |
| C104 | 内山 明博 (環境研) | スカイラジオメーター (POM02) の特性 (Part 2) (衛星推定エアロゾルプロダクト検証に向けて) |
| C105 | 関口 美保 (海洋大) | ひまわり 8号による衛星解析データを用いたエアロゾルによる雲への影響についての統計的解析 |
| C106 | 藤川 雅大 (九大総理工) | MFMSPL を用いた雲相識別手法の有効性の検証 |
| C107 | 高橋 芳幸 (神戸大理) | 惑星大気放射伝達モデルの構築: 金星大気の計算 |

D 会場

大気力学

座長 : 石渡 正樹 (北大院理)

- | | | |
|------|------------------|---|
| D101 | 大貫 陽平 (九大応力研) | 地球流体力学における研究ツールとしての Wigner 変換 |
| D102 | 野田 彰 (MRI) | Eliassen-Palm フラックスと群速度の関係における β 効果 |
| D103 | 板野 稔久 (防衛大・地球海洋) | 軸流周りのシアーで生成する擾乱の最適励起 |
| D104 | 中島 健介 (九大・理) | 津波起源 Lamb 波の振幅の理論的見積もり |
| D105 | 吉崎 正憲 (立正大地球環境) | 球座標系における浅水波 (ラプラス潮汐方程式) の厳密解 (1) |
| D106 | 山野 未央 (名大 ISEE) | パイロットレポート資料に基づく日本上空での乱気流の統計的特徴 |
| D107 | 石渡 正樹 (北大院理) | 大気大循環モデルを用いた地球気候の太陽定数依存性に関する数値的研究 |

A 会場

気候システム I

座長 : 吉森 正和 (北大地球環境)

- A151 吉森 正和 (北大地球環境) 中高緯度の温暖化が熱帯の降雨分布に与える影響 2
- A152 長谷川 聡 (土研 ICHARM) 2°C及び 1.5°C昇温した将来の気象学的渇水の変化
- A153 戸田 賢希 (東大大気海洋研) 20 世紀に観測された日本周辺海域の強い昇温トレンド
- A154 横山 千恵 (東大大気海洋研) 日本周辺における初夏の降水特性の将来変化 : CMIP5 モデル大規模場による推定
- A155 関根 祐大 (東大大気海洋研) 十年規模気候内部変動に伴う全球平均気温の変動メカニズム

座長 : 土井 威志 (JAMSTEC)

- A156 土井 威志 (JAMSTEC) 100 アンサンブルメンバーによる季節予測実験
- A157 堀 正岳 (北極環境変動総合研究センター) d4pdf を用いた冬季北半球の寒波発生頻度と東アジア冬季モンスーンの変動幅の長期傾向についての研究
- A158 原田 やよい (気象研) 北半球夏季季節内振動と大気大循環変動との関係
- A159 黒田 友二 (気象研) 太陽活動の北大西洋振動への影響
- A160 小林 ちあき (気象研) 結合同化システムの短期再解析実験における降水量-SST 関係
- A161 楠 昌司 (気象研) 積算偏差降水量による雨期の判定

B 会場

多発する集中豪雨と線状降水帯—特に2017年の豪雨事例を中心として—

趣旨説明 (5分) 竹見哲也 (京大防災研)

座長: 川村 隆一 (九大院理)

- B151 津口 裕茂 (気象研) 「平成 29 年 7 月九州北部豪雨」の発生要因について
—線状降水帯の形成・維持メカニズム—
- B152 川野 哲也 (九大院理) 平成 29 年 7 月九州北部豪雨をもたらした線状降水帯の数値シミュレーション
- B153 竹見 哲也 (京大防災研) 2017 年九州北部豪雨をもたらした降水系の停滞性・持続性
- B154 加藤 亮平 (防災科研) 雲解像数値モデルを用いた平成 29 年 7 月九州北部豪雨を引き起こした線状降水帯に伴う降水量の予測可能性

座長: 清水 慎吾 (防災科研)

- *B155 佐山 敬洋 (京大防災研) 平成 29 年 7 月九州北部豪雨を対象とした中小河川の降雨流出氾濫解析
- *B156 P. C. Shakti (NIED) Rainfall runoff simulation of small ungauged mountainous river basins
- *B157 和田 幸一郎 (秋田地方気象台) 地域防災支援における気象台の取組み
- *B158 藤田 匡 (数値予報課) 現業数値予報システムによる豪雨予測の現状と課題

休憩 (5分)

座長: 津口 裕茂 (気象研)

- B159 伊藤 純至 (気象研) 線状降水帯の高解像度理想実験
- B160 若月 泰孝 (茨城大理) 梅雨前線帯の降水システムの理想化数値実験に関する研究
- B161 飯塚 聡 (防災科研) 海面水温が豪雨に及ぼす影響 平成 25 年 8 月秋田・岩手豪雨を例に
- *B162 永井 智広 (気象研) 局地的豪雨の降水量予測精度向上のためのライダーを用いた水蒸気鉛直分布の観測
- B163 吉田 智 (気象研) 水蒸気ラマンライダー観測による水蒸気量の同化
- B164 小司 楨教 (気象研) 大気診断のための高頻度データ同化実験

座長: 竹見 哲也 (京大防災研)

総合討論

* 印は招待講演 (18分)、その他講演は12分

C 会場

熱帯大気 I

座長 : 日置 智仁 (名大宇地研)

- | | | |
|------|-----------------|--|
| C151 | 北本 朝展 (NII) | 「デジタル台風」気象衛星画像データセットと機械学習 |
| C152 | 坪木 和久 (名大宇地研) | T-PARCI プロジェクトにおける台風観測のためのドロップゾンデ開発とそれを用いた台風の航空機観測 |
| C153 | 山田 広幸 (琉球大理) | 航空機観測で捉えた 2017 年台風第 21 号の二重暖気核構造 |
| C154 | 辻野 智紀 (名大宇地研) | 非静力学モデルで再現された台風 Lan (2017) における暖気核の時間変化 |
| C155 | 石原 正仁 (気象研) | 遠隔サイクロンによるスリランカの水害発生時の総観場 |
| C156 | 小山 亮 (気象研) | Noru(1705)の強化及び構造変化に影響を与えた環境場要因 |
| C157 | 嶋田 宇大 (気象研) | 強い鉛直シアー下で起きた 2015 年台風第 6 号の再発達と眼の壁雲形成 |
| C158 | ナヤク スリダラ (DPRI) | Dynamic Downscaling of typhoons affecting Northern Japan |
| C159 | 藤原 圭太 (九大院・理) | 日本の南海上で発達する秋台風に対する黒潮の遠隔作用 |
| C160 | 筆保 弘徳 (横浜国大) | 台風発生に影響を及ぼす対流圏上層寒冷渦の統計解析 |
| C161 | 日置 智仁 (名大宇地研) | 雲解像モデルを用いた台風の最大風速半径の決定要因についての研究 |
| C162 | 伊藤 耕介 (琉大) | JNoVA を用いた 2017 年台風 21 号航空機観測の同化 (序報) |
| C163 | 山口 宗彦 (気象研) | T-PARCI ドロップゾンデと気象庁全球予測システムを用いた観測システム実験と台風強度を対象とした感度解析ガイダンスの開発 |

D 会場

大気境界層

座長 : 北村 裕二 (気象研)

- D151 村橋 究理基 (北大理) 火星高解像度 LES を用いた地表面ダストフラックスの見積もり
- D152 佐藤 陽祐 (名大工) 洋上の浅い積雲に対する LES の解像度依存性
- D153 吉田 敏哉 (京大院理) 建物高さのばらつきを考慮した都市キャノピーによる乱流特性への影響
- D154 北村 裕二 (気象研) MYNN モデルの逆勾配項再考
- D155 吉崎 正憲 (立正大地球環境) 富士山周辺に見られる山岳波の数値実験
—1966年3月5日のBOAC機墜落事故時の大気環境—

座長 : 菅原 広史 (防大)

- D156 高咲 良規 (立正大) 1991年台風19号(T9119)に伴う青森県西部に発生したおろし風の成因
- D157 中村 祐輔 (立正大・院) GPS ゾンデにより観測された長野市裾花川谷ロケットの立体構造
- D158 高橋 一之 (都都市整備局／
気象予報士会) 高密度地上観測データで見られた短時間強雨発生前における気象場の変化—2015年7月24日の世田谷区を中心とした強雨事例—
- D159 菅原 広史 (防大) 地上気温測定に及ぼす露場広さの影響
- D160 山本 雄平 (京大院理) 日本の大都市域における地表面温度の日変化特性
- D161 清本 翔太 (東工大) 高解像度全球人工排熱量の将来推定

A 会場

気候システムⅡ

座長 : 谷貝 勇 (元気象大)

- | | | |
|------|----------------|--|
| A201 | 藤原 ケイ (無所属) | 「竜巻」発生時期と彗星位置の関係 |
| A202 | 内山 常雄 (予報士会) | 日本と世界の気温上昇の相違について |
| A203 | 水瀬 正雄 (長岡市) | 日本における理論太陽輻射量と気温日別平滑平年値の解析 |
| A204 | 谷貝 勇 (元気象大) | 地球温暖化が影響する日本の冷夏と暑夏について (その10) - アメダスの豪雨と温暖化の関係 - |
| A205 | 足立 幸穂 (理研計算科学) | 関西地域の夏季降水を対象とした SCALE による将来変化予測 (その3) |
| A206 | 釜堀 弘隆 (気象研) | 東海地方の降水量観測データレスキュー |

B 会場

降水システムⅡ

座長 : 吉住 蓉子 (九大院理)

- | | | |
|------|-----------------|--|
| B201 | 久芳 奈遠美 (東大大海研) | 暖かい雨に対する雲物理スキーム比較実験—バルク法で使われる shape parameter の効果— |
| B202 | 齋藤 泉 (名工大院工) | 雲乱流実験において形成される粒径分布に関する統計理論について |
| B203 | 田尻 拓也 (気象研) | ヨウ化銀粒子の雲核・氷晶核能 |
| B204 | 中井 専人 (防災科研・雪氷) | 降雪種ごとの Zh-R : 雲粒の少ない粒子についての観測的検討 |
| B205 | 橋本 明弘 (気象研) | バルク法雲物理モデリングにおける降水粒子特性の精緻化 |
| B206 | 吉住 蓉子 (九大院理) | 南岸低気圧に伴う降水雲のビデオゾンデ直接観測データを用いた WRF 雲物理スキームの評価 |
| B207 | 馬場 雄也 (JAMSTEC) | 異なる雲内部パラメタリゼーションを用いた降水の日変化応答の解析 |

C 会場

熱帯大気Ⅱ

座長 : 西 憲敬 (福岡大理)

C201	米山 邦夫 (JAMSTEC)	YMC-Sumatra 2017 集中観測概要
C202	横井 覚 (JAMSTEC)	YMC2017-Sumatra 集中観測期間中に見られた降水日変化
C203	伍 培明 (JAMSTEC)	MJO に伴う対流活発な位相通過時にスマトラ島で観測された地上の突風
C204	茂木 耕作 (JAMSTEC/DCOP)	Pre-YMC と YMC 期間中の MJO 通過に伴うスマトラ西方沖縁辺海の混合層変動
C205	萩野 慎也 (JAMSTEC)	熱帯沿岸脱水機 : 全球海陸水循環における沿岸降水の働き
C206	牛山 朋来 (土研 ICHARM)	2017 年 5 月スリランカ豪雨の数値実験
C207	西 憲敬 (福岡大理)	積乱雲を含む大規模雲域の変形過程

D 会場

気象予報 I

座長 : 本田 匠 (理研計算科学)

- | | | |
|------|----------------|--|
| D201 | 齊藤 和雄 (気象研) | アンサンブルデータ同化のための摂動手法 (4) NHM-LETKF |
| D202 | 露木 義 (気大) | PV inversion を用いたアンサンブルカルマンフィルタ (第2報) |
| D203 | 青梨 和正 (気象研) | Neighboring Ensemble に基づく変分同化法への降水の混合対数正規分布の導入 |
| D204 | 山崎 哲 (JAMSTEC) | 観測インパクト評価診断 (EFSO) ツールの「機動的」観測実験への利用 |
| D205 | 前島 康光 (理研) | 高密度地上観測データ同化実験における観測要素別のインパクト |
| D206 | 本田 匠 (理研計算科学) | 降水予報改善へ向けた雲域赤外輝度温度観測同化の重要性 |
| D207 | 吉村 僚一 (東北大工学部) | WRF-3DVAR データ同化および観測地点感度解析を用いた風力発電所における高精度風況予測 |

A 会場

気候システムⅢ

座長 : 小長谷 貴志 (東大AORI)

- | | | |
|------|--------------------|--|
| A301 | 木野 佳音 (東大 AORI) | 軌道要素の違いによる高緯度域気候-植生フィードバック |
| A302 | 河合 佑太 (神大・理) | 海惑星気候の太陽定数増減実験: 海洋熱容量と海洋熱輸送の効果 |
| A303 | 小長谷 貴志 (東大 AORI) | 氷期から間氷期にかけて生じた急激な気候変化の再現 |
| A304 | 岩切 友希 (AORI) | 完新世の気候を対象とした ENSO-季節サイクル間相互作用の研究 |
| A305 | 納多 哲史 (京大院理) | 最終氷期最盛期実験における成層圏化学フィードバックによる寒冷化抑制 |
| A306 | 渡辺 泰士 (東大) | 更新世初期の 4 万年の氷期間氷期サイクルの形成メカニズムと更新世後期の 10 万年サイクルとの違い |
| A307 | 大島 長 (気象研) | 小惑星衝突により発生したすすによる気候変動 -恐竜などの大量絶滅の可能性- |
| A308 | 青木 輝夫 (岡山大) | グリーンランド氷床涵養域における気温上昇に伴う積雪粒径の増加と近赤外アルベド低下効果 |
| A309 | シェリフ 多田野 サム (AORI) | 大陸上の氷床拡大が海面冷却を通して大西洋子午面循環と気候に与える影響 |

B 会場

降水システムⅢ

座長 : 猪上 華子 (気象研)

- | | | |
|------|-------------------|--|
| B301 | 鈴木 博人 (JR 東日本防災研) | ドップラーレーダーを用いた突風に対する列車運転規制方法の開発 |
| B302 | 楠 研一 (気象研) | 鉄道のための突風探知研究 -これまでの流れと今後の展望- |
| B303 | 猪上 華子 (気象研) | 2017年11月24日に庄内沖で発達した小スケールの渦を伴うメソ渦の特徴 |
| B304 | 岩井 宏徳 (NICT) | 沖縄本島で観測されたマイソサイクロンの構造 |
| B305 | 佐々 浩司 (高知大理) | 深層学習による漏斗雲の自動検知の試み |
| B306 | 岩下 久人 (明星電気) | 地上稠密気象観測による気温低下型突風予測手法検証 |
| B307 | 栃本 英伍 (東大大気海洋研) | 2015年9月1日に対馬海峡で突風を生じたメソ β スケール渦のアンサンブル実験 |
| B308 | 益子 渉 (気象研) | 高解像度モデルを用いた Updraft Helicity の日本で発生する竜巻への適用 |

C 会場

熱帯大気Ⅲ

座長 : 末木 健太 (理研計算科学)

- | | | |
|------|------------------|--|
| C301 | 柳瀬 友朗 (京大院理) | 熱帯海洋上の積雲対流の組織化に関する数値実験:対流活動の日変化の考察 |
| C302 | 末木 健太 (理研計算科学) | 深い湿潤対流の統計的性質の数値的収束性 |
| C303 | 杉 正人 (気象研) | 雲解像モデルによる熱帯太平洋の深い積雲対流のシミュレーション—Gray zone の積雲対流スキームの開発に向けて— |
| C304 | 中澤 哲夫 (気象研) | 最近 100 年の対流圏界面高度変化 |
| C305 | 中野 満寿男 (JAMSTEC) | 北緯 25 度以北での台風発生について |
| C306 | 加瀬 紘熙 (横浜国大院) | Deep Learning を用いた台風強度予測 |
| C307 | 金田 幸恵 (名大 ISEE) | 擬似温暖化実験による台風に伴う北海道東部の大雨の将来変化予測 |
| C308 | 石山 尊浩 (東大 AORI) | 強 El Niño 年(1997/2015 年)の北太平洋の熱帯低気圧活動環境場の相違 |
| C309 | 宮本 佳明 (マイアミ大) | 270 メンバーのアンサンブル計算で得られた急発達開始前の熱帯低気圧の構造変化 |

D 会場

気象予報Ⅱ

座長 : 吉田 聡 (京大防災研白浜)

- | | | |
|------|-----------------|--|
| D301 | 本田 有機 (気象庁数値予報) | 現業数値予報での観測データ利用の高度化:2017年成果報告 |
| D302 | 瀬古 弘 (気象研) | 航空機からの SSR モード S ダウンリンクデータの同化実験(その3) |
| D303 | 岡本 幸三 (気象研) | ひまわり 8号の赤外輝度温度同化:晴天域同化との比較 |
| D304 | 栗花 卓弥 (筑波大) | 二重偏波パラメータに関する統計調査 |
| D305 | 門倉 真二 (電中研) | 風力発電出力予測の高度化 -モニタリングデータ活用による精度向上- |
| D306 | 吉田 聡 (京大防災研白浜) | 2017年3月27日那須雪崩をもたらした低気圧の予測可能性 |
| D307 | 和田 章義 (気象研) | 2016年台風第1号による南西諸島及び九州南部のシールド状降水域形成プロセス |
| D308 | 棚原 慎也 (琉球大) | CNNを用いた台風の強度予測における感度解析 |

A 会場

気候システムIV

座長 : 澤田 洋平 (気象研)

- | | | |
|------|-----------------|---------------------------------|
| A401 | 堀田 陽香 (東大 AORI) | 衛星シミュレータを用いた気候モデル MIROC の雲場の評価 |
| A402 | 山本 孝祐 (AORI) | 気候シミュレーションにおける積雲対流パラメタリゼーションの役割 |
| A403 | 澤田 洋平 (気象研) | 衛星観測マイクロ波放射輝度を同化した陸域水文・生態系の再解析 |

環境気象

座長 : 仲吉 信人 (東京理科大)

- | | | |
|------|---------------|---|
| A404 | 藤部 文昭 (首都大) | 熱中症による救急搬送率の地域性と変動—死亡率との比較— |
| A405 | 仲吉 信人 (東京理科大) | 都市移動観測へ向けたグローブ風速放射センサの性能調査 |
| A406 | チン ビンパイ (気象研) | Distribution of aerosol mixing state revealed by transmission electronic microscopic observations in Japan and its relevance to cloud droplet nucleation properties |
| A407 | 梶野 瑞王 (気象研) | 放射性セシウムの沈着と拡散への感度: 気象モデルとエアロゾル特性 |

B 会場

降水システムIV

座長 : 佐藤 晋介 (NICT)

- | | | |
|------|----------------------|------------------------------------|
| B401 | 足立 透 (気象研) | TC1703に伴って突風被害をもたらした積乱雲のデュアルPAWR解析 |
| B402 | 諸田 雪江 (NICT/名大 ISEE) | 近畿地方で発生した孤立積乱雲のフェーズドアレイ気象レーダー観測 |
| B403 | 佐藤 晋介 (NICT) | フェーズドアレイ気象レーダーで観測された3次元降水データの時空間特性 |
| B404 | 岩崎 博之 (群馬大教育学) | 日本周辺における多重雷の雷撃時間間隔を決める要因について |

C 会場

観測手法 I

座長 : 清水 慎吾 (防災科研)

C401	足立 アホロ (気象研)	RASS 観測におけるパラメトリックスピーカーの利用
C402	六車 光貴 (RISH)	パラメトリックスピーカーを用いた低騒音型 RASS 用音源の開発
C403	清水 慎吾 (防災科研)	複数台レーダを用いた三次元風速場解析の手法間比較と統合化プログラムの提案
C404	鈴木 賢士 (山口大院)	Ka 帯レーダと MRR による二周波反射因子差の雲物理的特徴
C405	石元 裕史 (気象研)	レーダー反射特性解析のための融解雪片モデルの開発
C406	佐藤 英一 (気象研)	二重偏波レーダーを用いた曇天・雨天時の火山噴煙の観測について
C407	大平 貴裕 (気象工学)	パーシベルによる桜島降灰のリアルタイム監視

D 会場

気象予報Ⅲ

座長 : 堀田 大介 (気象研)

- | | | |
|------|------------------|--|
| D401 | 米原 仁 (気象庁数値予報) | 2017年5月に実施した気象庁全球モデル(GSM)の改良について |
| D402 | 中川 雅之 (気象研) | 気象庁全球モデルにおける下層雲の表現の改善 (第二報) |
| D403 | 計盛 正博 (気象庁数値予報) | マイクロ波輝度温度データを用いた気象庁全球数値予報モデルの評価—寒気吹き出し域の雲水表現について— |
| D404 | 榎本 剛 (京大防災研) | RBFを用いた浅水波モデルの標準実験による検証 |
| D405 | 堀田 大介 (気象研) | ネスト可能でマルチグリッド法の利用に適した全球スペクトルモデル用の格子系の提案 |
| D406 | レ デュック (JAMSTEC) | Application of diagonal ensemble transform matrices into ensemble forecast |
| D407 | 高谷 祐平 (気象研) | インドモンスーンオンセット期の季節内降水予測と旱魃インデックスの利用 |

B 会場

物質循環システム

座長 : 柴田 泰邦 (首都大)

- | | | |
|------|----------------|---|
| B451 | 鶴田 治雄 (RESTEC) | 福島第一原子力発電所近傍の SPM 測定局における事故直後の放射性セシウム時系列データの解析 |
| B452 | 渡邊 明 (福島大・理工) | ナノ粒子の放射線強度の変動 |
| B453 | 佐藤 陽祐 (名大工) | 統一気象場と放出源を用いた福島第一原子力発電所起源の ^{137}Cs を対象としたモデル間比較プロジェクト |
| B454 | 河合 慶 (名大院環境) | ゴビ砂漠のライダーネットワークが捉えた寒冷前線システムによるダストの舞い上げとその空間構造 |
| B455 | 源 祐輝 (名大院環境) | ひまわり 8 号 Dust RGB 画像を用いたゴビ砂漠ダストホットスポットの解析 |
| B456 | 柴田 泰邦 (首都大) | 3 波長 DIAL による境界層中の CO_2 濃度とエアロゾルおよび気温鉛直分布の同時観測 |
| B457 | 梶野 瑞王 (気象研) | 気象庁気象化学モデル NHM-Chem : 化学・物理・光学特性および領域収支の整合的予測 |
| B458 | 大島 長 (気象研) | 気象研究所地球システムモデルによる北極域におけるブラックカーボンの放射影響評価 |
| B459 | 竹見 哲也 (京大防災研) | 桜島からの火山灰輸送の季節性・地域性に関する統計解析 |

C 会場

観測手法Ⅱ

座長 : 古澤 文江 (名大宇地研)

- | | | |
|------|---------------------|---|
| C451 | 鈴木 睦 (宇宙研) | SMILES-2 バンド設定について |
| C452 | 清水 悠正 (神戸大・海事) | WRF 計算用海面水温データセット MOSST と IHSST の比較 |
| C453 | 永尾 隆 (JAXA/EORC) | GCOM-C/SGLI の全球観測模擬データを用いた晴雲識別アルゴリズムの試作 |
| C454 | 古澤 文江 (名大宇地研) | 衛星観測データを用いた降水プロダクト間の比較 III |
| C455 | 山地 萌果 (JAXA/EORC) | 衛星全球降水マップ GSMaP の日本域における検証 ~信頼度フラグの有効性~ |
| C456 | 宇塚 和夫 (TOK) | メンテナンスフリーを実現した転倒ます型雨量計の開発 |
| C457 | 山本 哲 (気象研) | 極細熱電対による気温観測における風速影響 |
| C458 | 渡邊 武志 (CRIEPI) | 地表面日射量時系列データの特徴を表す時系列特徴量の選択手法 |
| C459 | 松井 倫弘 (フランクリン・ジャパン) | LIDEN データを用いた JLDN の対地雷検知効率の評価 |

D 会場

中層大気

座長 : 野口 峻佑 (気象研)

- | | | |
|------|-------------------|--|
| D451 | 坂崎 貴俊 (ハワイ大 IPRC) | 熱帯海洋域における地上気温の太陰潮汐シグナルの検出 |
| D452 | 高麗 正史 (東大院理) | 大型大気レーダーとラジオゾンデに基づく南極自由大気中の乱流パラメータ推定 |
| D453 | 南原 優一 (東大院理) | PANSY レーダーで観測された極域対流圏・下部成層圏における重力波の間欠性 |
| D454 | 角 ゆかり (東大院理) | 成層圏突然昇温時の成層圏の気温構造と重力波特性 |
| D455 | 星 一平 (新潟大) | 北極海氷域変動に伴う Weak Polar Vortex event の特徴 |
| D456 | 松下 優樹 (東大院理) | 大気再解析データに基づく中層大気の年々変動と波強制の関係についての研究 |
| D457 | 向川 均 (京大・院理) | 冬季成層圏極渦に内在する予測障壁~2009・2010年の成層圏突然昇温の予測可能性比較~ |
| D458 | 野口 峻佑 (気象研) | 成層圏突然昇温予測への衛星観測のインパクト |
| D459 | 小新 大 (東大院理) | 全中性大気に対する最適なデータ同化システムの検討 |
| D460 | 廣岡 俊彦 (九大院理) | 2016年のQBO異常に伴う力学場と大気微量成分の変動(II) |
| D461 | 劉 光宇 (九大理院) | 南極域におけるオゾン変動と力学場の関係III |
| D462 | 直江 寛明 (気象研) | 衛星観測 Level2 オゾン全量の長期トレンド |